

令和5年度

「市長が訪問します

市政に対するご意見をお聞かせください」

結果報告書

1. 開催日時 令和6年1月25日（木）
10時～11時
2. 開催場所 放課後等デイサービス メイちゃんのおうち
3. 参加者 NPO法人 la casetta（ラカセッタ）
スタッフ、保護者等12名



【テーマ】 障がい福祉サービスと不登校について

障がい福祉サービスの現状と課題等について意見交換を行った

■障がい福祉サービスの現状

- ・制度の改正(*1)により、審査制度が変わってサービス支給日数が減りそれまでと同じ日数を通えなくなった。逆に支給日数は確保されても、閉所した事業者もあり、市内に受皿がなく利用できない親さんが困っている。
- ・資金繰りが大変で、自分の貯金を切り崩して運営をしている。サービス提供に必要な人材を確保したくても、経費的に困難であり、助け合いの精神で成り立っている現状がある。
- ・放課後等デイサービスを利用する不登校の児童が、短時間の登校を繰り返し学校とかかわりを持ちながら、登校できるようになった。

*1 令和 4 年 9 月から放課後等デイサービスの支給基準を段階的に設けるとともに、利用者負担の有償化、日中一時支援の利用要件の緩和などの見直し。

■不登校等の現状（保護者からの意見）

- ・子どもが小学校低学年から行き渋りがあり、サービスを利用している。学校はいかなくてもいいが、心を満たしてあげたい。色々な施設が使えるといい。
- ・保育園から小学校にあがると、友だちと別々の学校になる、越境通学はできないのか？自由に行きたい学校へ行ける制度ができるといい。不登校児童にとっても学校は居場所になっている。
- ・子どもが過ごしやすい施設がたくさんあればいい。
- ・サービス支給日数が減って困っている。新 1 年生の支給日数が少なくなったと感じる。

■市への要望

- ・利用日数の規定を制度改正前に戻して欲しい。
- ・希望するサービス支給日数すべてを認定して欲しい。本当に困っている人に対応したいが受けられない。
- ・放課後等デイサービス事業の開設準備中であるが、とにかく資金繰りが大変。若い人も辞めていく現状で人材確保が厳しい。事業所が成り立つ仕組みづくりへ支援してほしい、特に金銭的な援助。
- ・市の部署間の連携が全く取れていない。
- ・社会福祉協議会にはたくさんのスタッフがいる。市も各種委託をしていると思うが、見直しをしてこの分野での活用をお願いしたい。大きい事業所がもっと受け手になり、小規模事業所を下支えしてほしい。
- ・子どもの多様性を生かせる制度と場所がほしい。
- ・子どもが将来自立できることが願いであり、補助制度などの充実もお願いしたいが、これからもこのように意見を聴いてもらいたい。

■市長から感想等

- ・ お金も直接ではなく、ひだ財団を経由して回るようにしたい。
- ・ 市長になってから、教育のことは口を出さないようにしてたが、これからはスタンスを変える。
- ・ 来年度は組織改正で、子どもに特化した部署を作る予定。
- ・ 子どもが自由に選べるような体制を作りたい。